



「東北太平洋沖大地震」震災支援活動を続けよう!!



＜朝日新聞平成23年4月4日(月)朝刊1面掲載から＞

各団各地区では、義援金募金活動を中心にそれぞれの地域で活動を続けていただいています。

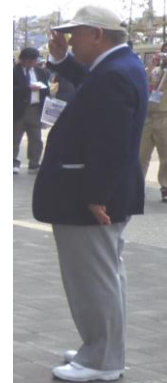
大阪連盟でも、第83回選抜高校野球大会会場での募金活動奉仕を主催者から依頼され、延べ269人のスカウト指導者が兵庫連盟とともに、甲子園球場内で開会式から閉会式の期間活動し、1,627万2,718円の浄財が集まりました。

事務局に設置した募金箱には、来局者や理事会・委員会の方々ハワイ・レインボー・キャンプ壮行会参加者・などの方々の募金と、大阪連盟に託されたスカウト展での一般募金38,138円、大阪宗教関係スカウターズ協議会から10万円、茨木第1団の街頭募金112,864円、大阪第11団の街頭募金52,418円を合わせて総額459,907円を4月14日に日本赤十字社に送金しました。

日本連盟では、被災地の各県連盟事務局に日本連盟職員を出向派遣し、県災害対策本部に加わりボランティア情報を日本連盟に送って、登録されたボランティアを派遣するよう活動しています。

これらに対する支援募金も日本連盟で企画が進んでいます。

＜詳しくは、HPで＞



4月3日奉仕スカウト
に挨拶される
奥島 高野連会長
(日本連盟理事長)

平成22年度の目標

『標準隊を目指して ーすべての支援を団・隊にー』
ー 団、隊の再生・活性が明日の運動を輝かせる ー

第7回大阪連盟スカウト展

3月26日(土)～27日(日)に、NHKホールアトリウムにて、大阪連盟スカウト展を開催しました。当日は、パネル展示、ビデオ放映、ボーイスカウト活動の紹介、クラフトコーナー体験に、たくさんのご来場をいただきました。



面接日 3月14日 5人

住吉 勝くん 東大阪第9団(東阪)

プロジェクト

- 「愛は地球を救う」
- 「パティシエの卵になる」
- 「カブスカウトに笑顔を」

野村 一樹くん 豊中第5団(豊中)

プロジェクト

- 「レギュラーへの道」
- 「Let's go adventure!」
- 「広げよう5団の輪」

島崎 貴彰くん 和泉第4団(泉州)

プロジェクト

- 「21WSJでサイト訪問」
- 「行け ペーロン!!!」
- 「夜の街へ Let's Go!!!」
- 「大阪の橋『百選』」

曾我部 美紀さん 堺第1団(泉州)

プロジェクト

- 「奉仕の心」
- 「大きな一歩!」
- 「thanks road!」

山口 喜堂くん 茨木第6団(三島)

プロジェクト

- 「ハワイウクレレ 滞在記」
- 「五月祭やっちゃいましょうか!!!」
- 「阿波ボーイ」

◎菊スカウト

5人

北河内地区	1人
阪南地区	1人
泉州地区	2人
泉州南地区	1人

こどもカーニバル

こどもカーニバルに大阪連盟も参加します。

日時 平成23年4月24日(日)

会場 大阪城太陽の広場

担当 なにわ地区

協力 淀川北地区、城北地区、
南東地区、阪南地区

是非お立ち寄りください。

教育規程改正のお知らせ

日本連盟にて、平成19年度から取り組んでいました「ベンチャースカウト部門プログラムのボーイスカウト部門との一貫性、継続性を考慮した一体的な改善についての研究開発」の研究結果を踏まえ、日本連盟教育規程の内、ベンチャースカウトに関する規程が改正されました。

公布：平成23年4月1日

施行：平成23年9月1日

大阪連盟としては、本年9月1日からの施行に向け、地区コミッショナーを通じて、情報提供並びに、取り組みを進めて参ります。

今後の情報連絡に留意をお願い致します。

第6回ハワイ・レインボー・キャンプ

31名の派遣員は予定通り全日程を終え、3月29日(火)に無事関西空港に帰国しました。
各団各地区の関係者の皆様、どうもありがとうございました。

平成23年度

大阪連盟ホームページ運営チーム

4月から1年間の任期でホームページの掲載記事作成作業及び大阪連盟年間事業の映像収集の作業を担当していただきます。

運営チーム責任者 加納力事務局長
ディレクター 小川時弘副コミッショナー
作業チーム員 堀江啓太(大阪第68団)
作業チーム員 原田貴之(大阪第164団)
作業チーム員 山ノ内健太(大阪第120団)

平成23年度大阪連盟年次総会

開催日 6月5日(日)13時～
場所 アネックスパル法円坂
7F なにわのみやホール

日本連盟奥島理事長が、総会に臨席され
議事終了後講演をいただく予定です。

人事往来

◎団担当コミッショナー 就任(4月14日)
なにわ地区 丸橋 康謹氏

◎団担当コミッショナー 就任(4月14日)
南東地区 川端 孝一氏

WB研修所参加予定人数

5月コース
BVS課程 35人
CS課程 28人
BS課程 36人

大阪連盟創立60周年記念キャンポリー

実行委員が決定しました

宮本理事を委員長として、以下15人の方が
委員を務めます。

委員長 宮本智喜 (理事)
委員 杉山重美 (理事)
委員 伊東徹二 (理事・行事委員長)
委員 上道小太郎 (理事)
委員 樽谷 進 (副理事長)
委員 間下正司 (副理事長)
委員 山口 茂 (理事・吹田地区委員長)
委員 片山和俊 (理事・淀川北地区委員長)
委員 市橋一與 (理事・阪南地区委員長)
委員 荒堀和博 (理事・泉州地区委員長)
委員 赤塚広之 (理事・国際委員長)
委員 膳師 功 (理事)
委員 水戸守雅之 (理事)
委員 沖山雅己 (副コミッショナー)
委員 小川時弘 (副コミッショナー)
委員 福本途一 (南東地区指導者委員長)
オブザーバー

谷口 修 理事長
横山 稔 コミッショナー
加納 力 事務局長
斉藤保美 事務局次長
馳澤信一 事務局員

平成23年度ボーイスカウト講習会

○4月17日 城北地区担当

うぶ声

三島地区 茨木第2団ビーバー隊 復活
三島地区 茨木第9団ベンチャー隊 復活
泉州東地区 堺第15団ベンチャー隊 復活
<平成23年4月14日理事会承認>

スカウト用品からのお知らせ

新商品のご案内

●鉛筆セット（3本組） @ 100円

価格変更のお知らせ

平成22年5月より、下記の用品価格が変更になります。

●年功章台座（各色） @ 100円

●アルミロールマット・ゴールド @ 2,700円

●オピネルNO. 8 @ 1,600円

●ポリプロ食器 @ 1,530円

大阪連盟再生プログラム

【元気サポートシート】

平成19年度から取り組みを進めております再生プロジェクトへの、団や地区での推進支援のための『元気サポートシート』を、地区を通じて各団へ配布させて頂いており、それぞれに活用頂いていることと存じます。

今般、ご要望により、各シートを大阪連盟ホームページから、ダウンロード頂けるように準備を致しましたので、各団、各地区におかれましては、一層のご活用をお願い致します。

※トップページ (<http://swo.to/>) より、「元気サポートシート」のコーナーをクリックしてください。

維持会員加入にご協力ください!!

大阪のボーイスカウト運動の資金は、
財)大阪ボーイスカウト振興協会
の支援を受けています。

特別維持員：1口5万円、賛助維持員：1口1万円
通常維持員：1口2千円

※詳しくは大阪連盟事務局まで

大阪連盟の現状 H23.3.31

団の数	220団
隊の数	959隊
ビーバー隊	189隊
カブ隊	214隊
ボーイ隊	219隊
ベンチャー隊	209隊
ローバー隊	128隊
スカウト数	7,343人
団委員数	2,390人
指導者数	3,210人
合計	12,943人

日本ボーイスカウト大阪連盟

〒536-0006

大阪府中央区法円坂 1-1-35

(アネックスパル法円坂 4階)

電話 06-6943-0043 FAX06-6944-1573

ホームページ <http://swo.to/>

平成22年度の重点課題

- ① 標準隊を目指す具体的活動を全ての隊が行う。
- ② 「元気サポートシート」活用の徹底
- ③ 複数隊による活動の推進
- ④ 地区の団支援機能の充実
- ⑤ スカウト活動を「知らせる」「見せる」「理解してもらう」活動の推進

おおさかBS新聞

はじめに今年行われたBP祭を紹介しましょう☆

吹田地区B—P祭@南千里公園

2月20日の吹田地区！当日の参加者はなんと500人！一般の方もスカウト達に混ざって多数参加されました。開会式やプログラムの企画、司会進行はベンチャーやローバーが担当した。大縄跳びやモンキーブリッジなどスカウトインング技能を活用し、多くのスカウトたちにも楽しんでもらった。



東阪地区B—P祭@花園中央公園

世界の国の名前の関所でゲームを行った。スカウト活動の用語にちなんだ巨大カルタ取りや、キューピー人形を落とさないように運ぶゲームなどで、スカウト、指導者ともに盛り上がった。また、一般の方向けに普段の活動を紹介するスカウト展も設置された。セレモニーでは、今年度の富士章スカウトと菊スカウトの表彰式も行われた。表彰されたみんな、おめでとう！ 弥栄！



北河内地区B—P祭@サーティホール

BP祭は雨が定番、でも今年は集合時間の時はちよつと怪しかったけど、皆が会場に集まる頃にはお日様も少し見えました。いつもはプロック別で開催されることが多いBP祭ですが、今年は地区20周年ということもあり、ビーバーからベンチャーまで全員が集まり、お祝いをしました。カブ隊はスカウト全員で人文字を作りました。少しわかり辛いかもしれませんが、北河内、BP、カブ！万才！という文字を表現しました。



泉州南地区B—P祭@貝塚第2中学校

今回初めて企画段階からベンチャー・ローバーがBP祭の運営に携わった。主に遊びやフリーマーケットを企画した。『逃走中』のプログラムでは手の込んだ演出や午後プロのスタンプなどで盛り上っていた。今まで若手が運営に関わることが初めての試みでベンチャー・ローバーが指導者を振り回したこともあったが、スカウトに楽しんでもらえよかったです！

BPと対談できちゃいました!?

宮本「さて、今回はなんと我らがボーイスカウトを創設されたベーデンIIパウエルさんと対談する機会を作ることができました☆いろいろ聞いてみましょう!」



B・P「はじめまして、私がロバート・ステイブンソン・スミス・ベーデンIIパウエルです。まあ長いからBPでええよ」

宮本「ではBPはいつ生まれはったんですか?」

B・P「生まれたんは1857年2月22日やで」

宮本「今から150年以上前に生まれたんですねー」

B・P「ボーイスカウト活動も2007年で100周年やったな」

宮本「そでは次の質問です。なんでボーイスカウトを始めたんです?」

B・P「それはな、私は軍人時代に様々な国で多くの戦争や紛争を体験した。そこで、戦争で勝とうが負けようが最後に思うことはいつも同じ、『悲しみ』だった。戦争では多くの兵士はもちろん一般の市民も犠牲になつてしまう。」

宮本「今でも紛争は後を絶たないですしね」

B・P「その通り。それから軍人の経験を活かして本を書いた。軍人向けの手引書を書いたんやけど、それが多くの学校で使われてしまつた。」

宮本「それってなんか問題があつたんですか?子どもに教育にBPの本が使われるのはいいことや思うんですけど。」

B・P「いやな、そのころイギリスは戦争を終えて復興に向かつていたから、戦争を思い起こさせるようなことを子どもに教えるのはよくなかつたんや。」

宮本「あー、なるほど。それで子供向けに本を書いたんですね」

B・P「そうや、それが『スカウティング・フォア・ボーイズ』。あれは、学校で生徒に薦められて、すぐに広まつた。」

宮本「まさにベストセラーですね。」

B・P「せやねん!そして私はイギリスのブラウンシー島で20名の少年たちとともに実験キャンプを行った。そこで、ロープやテントなどのキャンプ技能や観察、追跡なども教えた。」

宮本「それから、子どもたちがBPの本を読んで自主的に善行を始めたんですね。」

B・P「そう。そこがまさにボーイスカウト活動の始まりやった。」

宮本「それからおよそ100年がたった今、世界中でスカウト運動が展開されています。」

B・P「ボーイスカウトには平和運動としての一面もあつてな、それにはこんな話があるねん。第一次世界大戦後に行われた第1回世界ジャンボリーの最後、私は1本の斧を世界中の武器に見立てて、土に埋めた。そして、そこにいたスカウト、君らの先輩やな。彼らに向かつて『平和の騎士になつてほしい』って言うたら、みんなが『イエス!』って返してくれんたんや。」

宮本「先輩たちはすごいですね!僕たちも今再現してみませんか?」

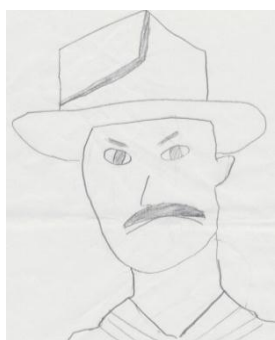
B・P「そんなこと今すぐようせんわ(笑)」

宮本「そういえば、豆知識とかないんですか?」

B・P「ふつといてそれはないわあ。まあええわ。ボーイスカウトの motto「そなえよつねに(Be Prepared)」は英語圏で「B. P.」と略されてるんやけど、あれは私の愛称である頭文字「B-P」から来てるんや」

宮本「そうなんですか!?はじめて知つた。明日誰かに教えたろ!BP今日はありがとうございました。」

B・P「こちらこそ、楽しかつたわ」



あとがき

今回、新年号に続いて新企画を行いましたがいかがでしたか?また、今後も続けられたらと思います。最後まで読んでいただきありがとうございます。挿絵は泉州南地区のカブが描いてくれました。